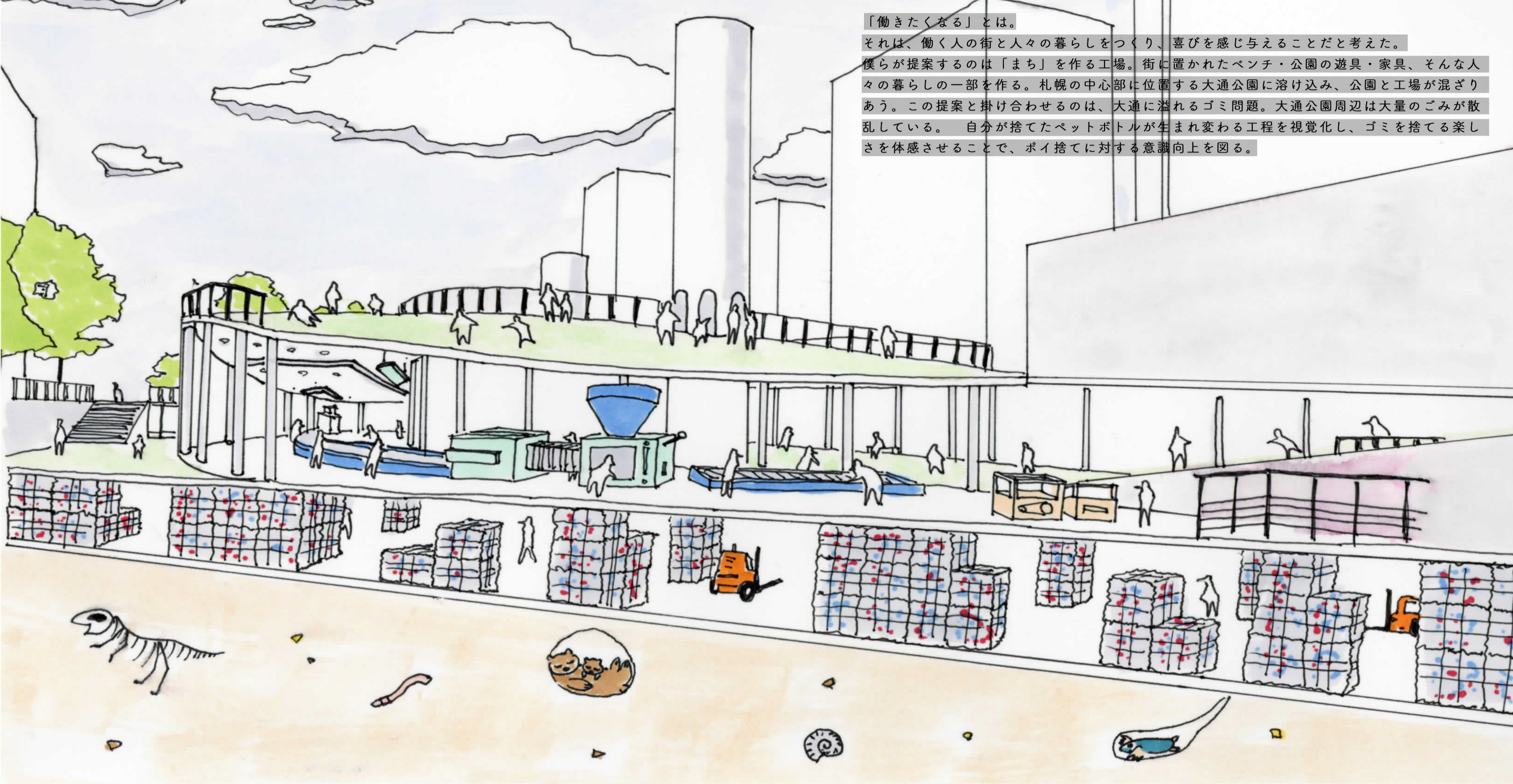


SUTENA-PARK

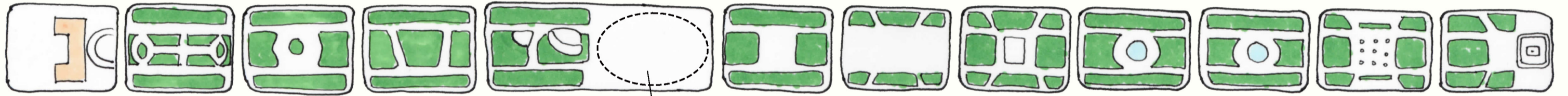
～サステナブルな暮らしを共につくる～

「働きたくなる」とは、

それは、働く人の街と人々の暮らしをつくり、喜びを感じ与えることだと考えた。
 僕らが提案するのは「まち」を作る工場。街に置かれたベンチ・公園の遊具・家具、そんな人々の暮らしの一部を作る。札幌の中心部に位置する大通公園に溶け込み、公園と工場が混ざりあう。この提案と掛け合わせるの、大通に溢れるゴミ問題。大通公園周辺は大量のごみが散乱している。自分が捨てたペットボトルが生まれ変わる工程を視覚化し、ゴミを捨てる楽しさを体感させることで、ポイ捨てに対する意識向上を図る。



1 | 計画敷地：札幌の中心部に位置する大通り公園は12ブロックに分かれており、各ブロックに役割が指定されている。本敷地の大通り八丁目は元々遊具が点在しており、子供が多く訪れるエリアである。



1 | ゴミを暮らしに

RECYCLE



リサイクル素材を使用することで、製造過程の炭素排出量を削減し、札幌のゴミ問題も併せて解決する

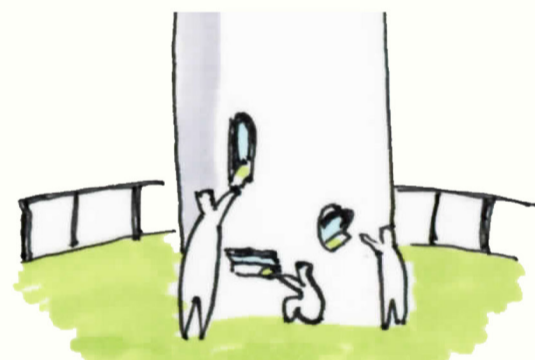
2 | イベントへの参画

EVENT



計画敷地は「あそび・イベントゾーン」に指定されている。工場が札幌雪まつりやオータムフェスの会場となり、工場への興味を持たせる。

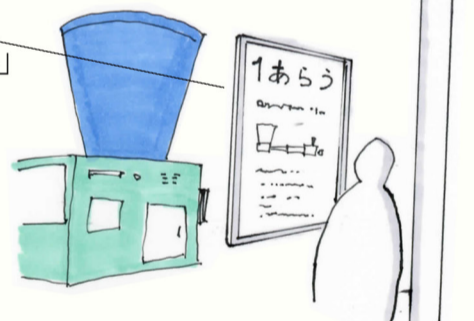
3 | 捨てる



工場から伸びる煙突は、地下へと続くダストシュートとなっている。ポイ捨てが多い街に、捨てたくなるゴミ箱の提案。

4 | 既存製品の活用

三共アルミ製品 「取り替え用複層障子」



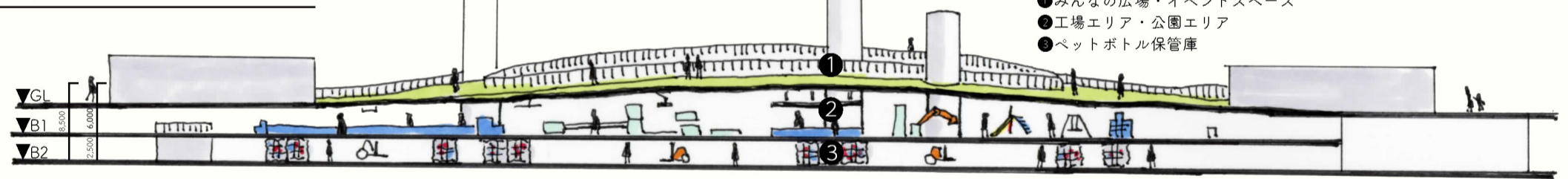
通常時は、工場機械の説明が書かれている。イベント時には、雪まつりやフェスの掲示板へと取り替える。

5 | まちに広げる



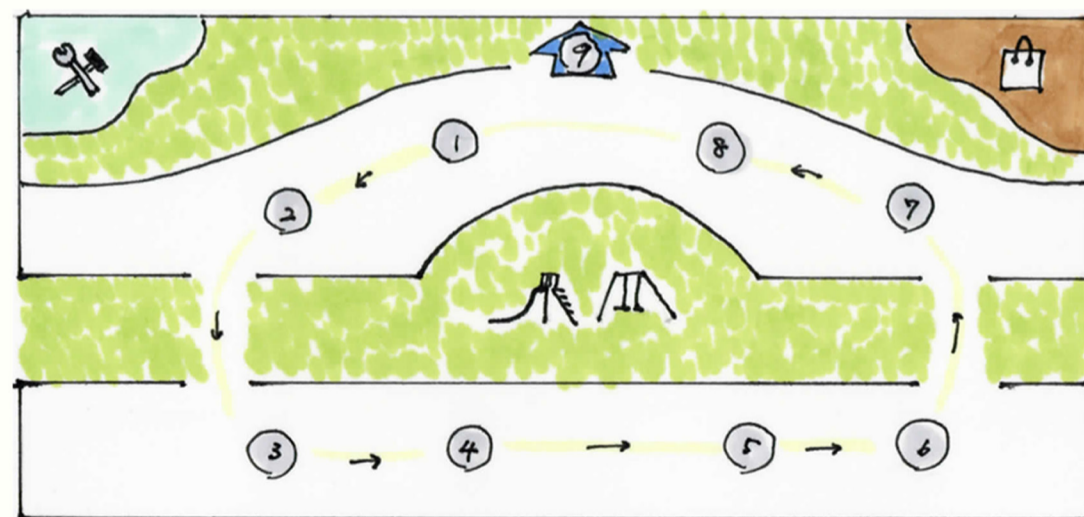
ペットボトル家具・遊具が工場を中心に広がっていく未来を想像する。

6 | 断面図 1:200



- みんなの広場・イベントスペース
- 工場エリア・公園エリア
- ペットボトル保管庫

7 | 平面ダイアグラム



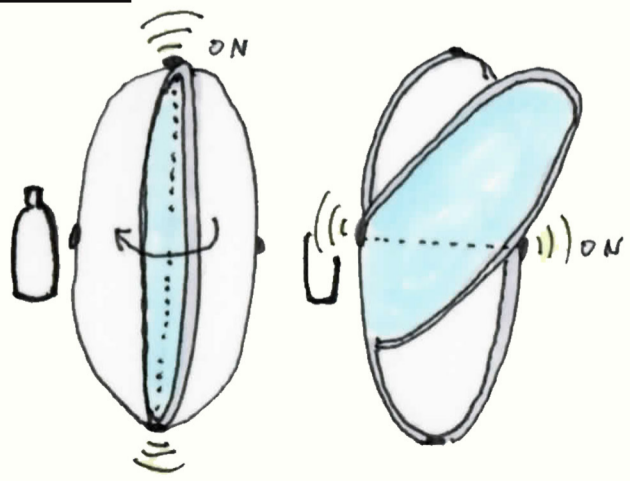
公園を囲うように機械を配置することで、工場と公園の一体化を図った平面計画

1. 洗浄
2. 粉碎
3. 仕分け
4. フレーク
5. 熔融
6. 家具の形成
7. 型入れ
8. 遊具の形成
9. 出荷

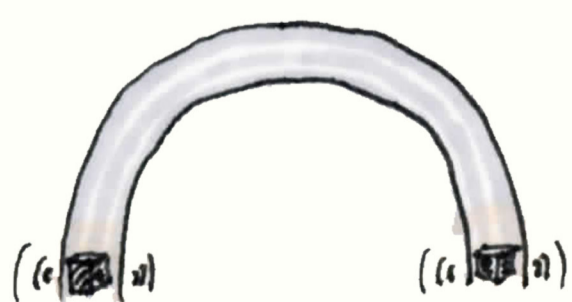


右奥：家具のワークショップ

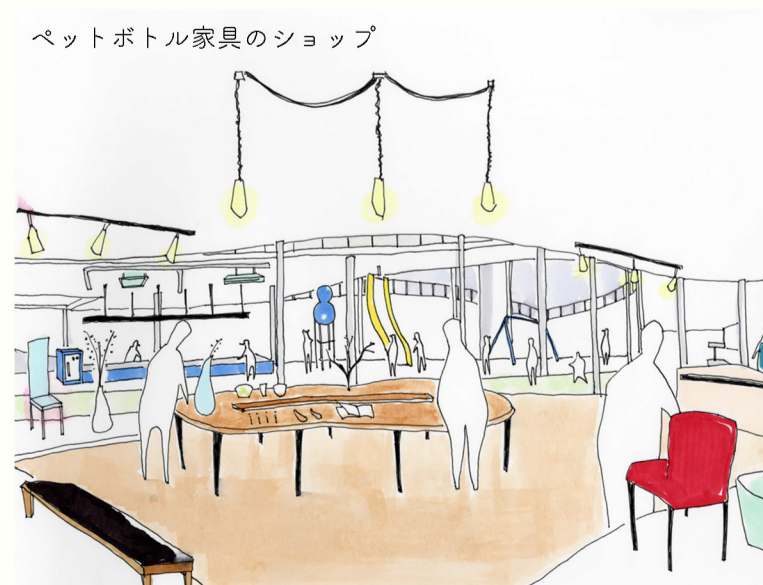
8 | 建材提案



くるくるサッシ：360°回転することによって、「捨てる」が「遊び」へ



サッシ・窓枠に磁石が埋め込まれていることで、軸が360°回転する



ペットボトル家具のショップ